

平成21年度

病害虫発生予察特殊報(第3号)

平成21年8月28日
神奈川県農業技術センター所長

病害虫名：トルコギキョウ黄化えそ病
病原ウイルス：Tomato Spotted Wilt Virus (TSWV)

作物名：トルコギキョウ

1 発生経過

- 平成21年5月下旬に県西地域で栽培されているトルコギキョウにおいて、葉にえそ斑や生長点の退色が生じ、症状が激しい場合は生育不良となる株が発生した。
- 同年6月に農業技術センター足柄地区事務所、農業環境研究部および病害虫防除部職員が現地を調査したところ、施設内に栽培されていたトルコギキョウ（約30㎡）のほぼ全株で、葉のえそ斑や白色えそ輪紋症状を確認した。また、トルコギキョウにはミカンキイロアザミウマとネギアザミウマが、同施設内で栽培されていたゼラニウムにはヒラズハナアザミウマが寄生していた。
- 農業技術センターにおいて生物検定およびRT-PCRで検定し、PCRで増幅されたDNA断片の塩基配列を解析したところ、Tomato Spotted Wilt Virus (TSWV) と同定され、トルコギキョウ黄化えそ病であることが確認された。トルコギキョウ黄化えそ病の発生は、本県で初めての確認である。

2 病徴および病原の性質と伝搬

- 本県で確認された主な症状は、葉のえそ斑や白色えそ輪紋症状、生長点の退色、株の萎凋や生育不良である。また、葉に退色モザイク症状、葉脈間に退色や白色えそ斑、花卉に斑入り症状を起こすという報告もある。
- 本ウイルスはトスポウイルス属に属し、寄主範囲が広く、野菜・花き類を中心に約650種の植物で被害が報告されている。
- 本ウイルスはミカンキイロアザミウマなどのアザミウマ類が媒介し、種子伝染、土壌伝染はしないとされている。

3 防除対策

- 媒介虫であるアザミウマ類の防除を徹底する。
- 防虫ネットなどを設置して、アザミウマ類の侵入を防ぐ。
- 周辺の作物や雑草なども伝染源となる可能性があるため、当該作物以外でのアザミウマ類の防除や除草などの周辺環境整備につとめる。
- 発病株は、速やかに抜き取り、埋設など適切に処分する。

4 防除薬剤

トルコギキョウおよび花き類・観葉植物のアザミウマ類に適用のある薬剤

系統*	薬剤名等	作物名	適用害虫名	使用時期, 回数	希釈倍数、使用量等
A	オルトラン粒剤	花き類・観葉植物	アザミウマ類	発生初期, 5回	3~6kg/10a, 株元散布
B	オンコル粒剤5	花き類・観葉植物	アザミウマ類	生育期, 3回	6kg/10a, 株元散布
A	オルトラン水和剤	花き類・観葉植物	アザミウマ類	発生初期, 5回	1,000~1,500倍
C	ハチハチフロアブル	花き類・観葉植物	アザミウマ類	発生初期, 4回	1,000倍
D	マブリック水和剤20	トルコギキョウ	アザミウマ類	発生初期, 2回	4,000倍
D	スカウトフロアブル	トルコギキョウ	アザミウマ類	-, 5回	2,000倍
E	アフーム乳剤	花き類・観葉植物	ミカンキロアザミウマ	発生初期, 5回	2,000倍
F	アクタラ顆粒水溶剤	トルコギキョウ	ミカンキロアザミウマ	発生初期, 6回	1,000倍
F	モスピランジェット	トルコギキョウ	ミカンキロアザミウマ	発生初期, 5回	50g/400m ³ , くん煙

*系統：農薬の作用機作から便宜的に分類したもの。

農薬に関する情報は平成21年8月19日までの農薬登録情報に基づいて記載しています。
使用に当たっては最新の登録内容を確認してください。

5 トルコギキョウでの症状



<葉のえそ斑症状>



<葉の白色えそ輪紋症状>



<萎凋症状>

神奈川県農業技術センター
病虫害防除部

〒259-1204 平塚市上吉沢1617

TEL 0463-58-0333

FAX 0463-59-7411

テレフオンサービス0463-58-6612

<http://www.agri-kanagawa.jp/nosoken/boujo.asp>